

事例 6 5

発生年月	令和 6 年 6 月
発生場所	秋田市大住
建物用途	共同住宅
被害状況	火災
概要	家人がやかんでお湯を沸かそうとガステーブルに火をつけたままその場を離れたところ、周囲の可燃物へ燃え移り住宅用火災警報器が鳴動した。警報音に気づいた付近住民が 1 1 9 番通報および消火器で初期消火を行った。早期に火災を発見して通報および初期消火したため、被害軽減につながった。

事例 6 4

発生年月	令和 6 年 6 月
発生場所	秋田市御所野地藏田
建物用途	一般住宅
被害状況	火災
概要	家人が玩具用品のろうそくに火を付けたままその場を離れたところ、周囲の可燃物へ燃え移り住宅用火災警報器が鳴動した。警報音に気がついた同居家族が初期消火および 1 1 9 番通報を行った。早期に火災を発見して初期消火したため、被害軽減につながった。

事例 6 3

発生年月	令和 5 年 1 0 月
発生場所	秋田市土崎港東
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	家人が、ガスコンロで調理中に火をつけたまま外出したため、フライパンで焼いていた肉が焦げて煙が発生し、ガスコンロ上部に設置している住宅用火災警報器が鳴動した。鳴動音と白煙に気づいた付近住民が 1 1 9 番通報した。早期に発見、通報したことにより火災に至らなかった。

事例 6 2

発生年月	令和 5 年 6 月
発生場所	秋田市保戸野
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	家人が鍋に火をかけたままその場を離れたところ、鍋内のものが焦げ煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動した。鳴動音を聞いた付近住民が 1 1 9 番した。早期に発見、通報したことにより火災に至らなかった。

事例 6 1

発生年月	令和 5 年 4 月
発生場所	秋田市寺内後城
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	火災
概要	家人が就寝していたところ、寝室に設置していた住宅用火災警報器が鳴動し目を覚ました。家の中を確認したところ仏間から火が出ているのを発見し、住宅用消火器で初期消火した。火災を早期に発見し初期消火したことで、被害軽減につながった。

事例 60

発生年月	令和5年4月
発生場所	秋田市手形
建物用途	耐火構造4階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	家人がガスコンロで鍋に火をかけたまま外出したところ、鍋内のものが焦げ煙が発生し、居室内に設置していた住宅用火災警報器が鳴動した。鳴動音を聞いた隣人が119番通報した。早期に発見、通報したことにより火災に至らなかった。

事例 59

発生年月	令和5年1月
発生場所	秋田市新屋
建物用途	木造2階建て住宅
被害状況	火災
概要	2階にいた居住者が居室を出たところ、階段の踊り場に設置している住宅用火災警報器が鳴動していた。1階に降りて確認したところゴミ箱から炎が上がっているのを発見し、初期消火した。火災を早期に発見し初期消火したことで、被害軽減につながった。

事例 58

発生年月	令和4年11月
発生場所	秋田市仁井田
建物用途	木造2階建て共同住宅
被害状況	火災
概要	2階の居住者が就寝中に煙の臭いで目を覚まし屋外に出たところ、1階から住宅用火災警報器の音が聞こえてきた。1階の部屋を確認しにいくと煙が出ていたため119番通報した。早期に火災を発見したことにより、被害軽減につながった。

事例 57

発生年月	令和4年6月
発生場所	秋田市千秋
建物用途	木造2階建て複合用途対象物
被害状況	火災
概要	2階の居住者が1階に設置されている住宅用火災警報器の音に気づき通報したことにより、火災が早期に発見され、他の居住者の早期避難と被害軽減につながった。

事例 56

発生年月	令和4年3月
発生場所	秋田市保戸野
建物用途	鉄骨造2階建て共同住宅
被害状況	火災（ぼや）
概要	フライパンで揚げ物用の油を加熱中、スマートフォン操作に夢中になっていると寝室に設置している住宅用火災警報器の音でフライパンから炎と煙があがっていることに気付いた。早期に発見出来たことにより、初期消火も成功し、怪我もなくボヤ程度で済んだ。

事例 5 5

発生年月	令和 4 年 5 月
発生場所	秋田市寺内
建物用途	鉄骨造 2 階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	住人がガスコンロの魚焼きグリルで油揚げを焼いてそのままその場を離れたところ、焦げて煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動した。 早期に発見出来たことにより、住人に怪我もなく火災に至らなかった。

事例 5 4

発生年月	令和 4 年 1 月
発生場所	秋田市土崎港
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	非火災
概要	住人が石油ストーブ上に誤って鍋敷きと鍋を一緒に置いたままその場を離れたところ、鍋敷きが焦げて煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動した。 早期に発見、119番通報したことにより、住人に怪我もなく火災に至らなかった。

事例 5 3

発生年月	令和 3 年 8 月
発生場所	秋田市仁井田
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	非火災
概要	住人が鍋を火にかけてそのままその場を離れたところ、住宅用火災警報器が鳴動した。様子を見に行くと、鍋の中の食材が焦げて煙が発生していたため、119番通報した。 警報音に気付いて早期に発見、対処したことにより、住人に怪我もなく火災に至らなかった。

事例 5 2

発生年月	令和 3 年 6 月
発生場所	秋田市御野場
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	火災
概要	住人が鍋を火にかけてそのままその場を離れたところ、住宅用火災警報器が鳴動した。様子を見に行くと、鍋から火が出ているのを発見し、消火器で消火するとともに119番通報した。 建物被害は最小限度に止まり、住人に怪我もなかった。

事例 5 1

発生年月	令和 3 年 5 月
発生場所	秋田市寺内
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	火災
概要	自宅 1 階の台所にある反射式石油ストーブに点火した後、その場を離れ玄関で作業していたところ、警報音と音声が聞こえたため台所に行くと、反射式ストーブ付近の可燃物が燃えているのを発見、台所にある洗面器で水を2回かけて消火した。その後、119番通報をしている。

事例 50

発生年月	令和2年12月
発生場所	秋田市土崎港
建物用途	鉄骨造3階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	住人が鍋を火にかけてそのままその場を離れたところ、煙が充満し居間の住宅用火災警報器が鳴動した。警報音に気付いて早期に発見、対処したことにより、火災に至らなかった。

事例 49

発生年月	令和2年9月
発生場所	秋田市南通
建物用途	木造2階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	鍋をかけ忘れ、住宅用火災警報器が鳴動したため早期に発見、対処したことにより火災に至らなかった。 また、119番通報を受けた消防隊が確認したところ、焼損物等は認められず、家人に怪我もなかった。

事例 48

発生年月	令和2年8月
発生場所	秋田市河辺
建物用途	木造2階建て住宅
被害状況	火災
概要	住人が就寝中に住宅用火災警報器が鳴動し、目を覚ました。廊下に出たところ、煙が充満していたため、すぐに外へ避難したところ、敷地内の物品が燃えていた。向かいの家へ火事ぶれし、向かいの住人が119番通報した。

事例 47

発生年月	令和2年4月
発生場所	秋田市檜山
建物用途	鉄筋コンクリート造5階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	住人が鍋を火にかけてそのままその場を離れたところ、室内に煙が充満し、住宅用火災警報器が鳴動した。 警報音に気付いて早期に発見、対処したことにより、火災に至らなかった。

事例 46

発生年月	令和元年8月
発生場所	秋田市飯島
建物用途	木造2階建て長屋
被害状況	ぼや火災
概要	住人が就寝していたところ、住宅用火災警報器が鳴動したため、目を覚まし、灰皿の周囲から出火しているのを発見した。 濡らしたタオルおよび水道水を鍋に汲んで初期消火を行った後、110番通報した。 初期消火に成功し、建物被害は最小限度に止まり、住人に怪我もなかった。

事例 4 5

発生年月	令和元年 8 月
発生場所	秋田市泉
建物用途	木造 2 階建て店舗併用住宅
被害状況	ぼや火災
概要	油が入った鍋をガスコンロにかけたまま、その場を離れてしまい、鍋から炎が上がり、住宅用火災警報器（熱式）が鳴動した。 住人がその警報音で火災に気づき、消火器で初期消火を行った後、119番通報した。 初期消火が成功し、建物被害は最小限度に止まり、住人に怪我もなかった。

事例 4 4

発生年月	平成 31 年 3 月
発生場所	秋田市旭川
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	非火災
概要	調理を終え、こんろの火を消したと思い込み、その場を離れたところ、室内に煙が発生したため住宅用火災警報器が鳴動した。 住人がその警報音と煙が漂っていたため鍋のかけ忘れに気づいた。こんろは加熱防止装置が作動し、火は消えていた。 消防隊が確認したところ、鍋の内容物が焦げた他に焼損はなく、住人に怪我もなかった。

事例 4 3

発生年月	平成 31 年 3 月
発生場所	秋田市手形
建物用途	木造平屋建て住宅
被害状況	非火災
概要	レトルト食品を鍋にかけてそのまま放置してしまい、室内に煙が発生したため住宅用火災警報器が鳴動した。 通行人がその警報音と異臭に気づき、周囲を確認したところ、住宅から白煙が漂っていたため、119番通報した。 消防隊が確認したところ、鍋の内容物が焦げた他に焼損はなく、住人に怪我もなかった。

事例 4 2

発生年月	平成 31 年 3 月
発生場所	秋田市土崎港
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	非火災
概要	カセットコンロに鍋をかけたまま外出してしまい、室内に煙が充満したため住宅用火災警報器が鳴動した。付近住民がその警報音に気づき、119番通報した。 消防隊が確認したところ、鍋の内容物が焦げた他に焼損はなかった。

事例 4 1

発生年月	平成 30 年 12 月
発生場所	秋田市山王
建物用途	木造 2 階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	こんろに鍋をかけたまま就寝してしまい、室内に煙が発生したため住宅用火災警報器が鳴動した。隣室の住民がその警報音と焦げ臭さに気づき、119番通報した。 消防隊が確認したところ、内容物が焦げた他に焼損はなく、住人に怪我もなかった。

事例 40

発生年月	平成30年10月
発生場所	秋田市広面
建物用途	鉄骨造2階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	ガスコンロでフライパンを加熱したままその場を離れてしまい、約30分後に内容物が焦げた煙で住宅用火災警報器が鳴動したもの。 警報音でフライパンのかけ忘れに気づいた住民がガスコンロの火を消し、火災に至らなかった。部屋の換気をした後、119番通報したもの。

事例 39

発生年月	平成30年1月
発生場所	秋田市広面
建物用途	木造2階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	開放式石油ストーブに点火し、外筒を正規の状態に戻さないまま就寝してしまい、不完全燃焼となった石油ストーブから煙が発生したもの。 隣の住民が住宅用火災警報器の警報音と異臭に気づき、110番通報した。警察から通報を受けた消防隊と警察官の対応で火災に至らず、就寝中の住人にもけがはなかった。

事例 38

発生年月	平成28年11月
発生場所	秋田市中通
建物用途	木造2階建て店舗併用住宅
被害状況	非火災
概要	居住者が魚焼きグリルのスイッチと誤ってガスコンロのスイッチを押してしまい、五徳に置いてあったフライパンが空焚き状態となり、煙が発生したもの。 居住者が居室に設置していた住宅用火災警報器の警報音に気づき、110番通報したものである。

事例 37

発生年月	平成28年6月
発生場所	秋田市手形
建物用途	木造2階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	共同住宅の前を通った学生が警報音と白い煙に気づいて119番通報したもので、出動した消防隊により鍋のかけ忘れと確認されたもの。

事例 36

発生年月	平成28年4月
発生場所	秋田市山手台
建物用途	木造2階建て住宅
被害状況	ぼや火災
概要	2階寝室で寝ていた家人が、階段に設置した住宅用火災警報器の鳴動に気が付き1階へ降りたところ、玄関で充電中のモバイルバッテリーから火と煙が上がり内壁へ燃え移っているのを発見したため、初期消火するとともに119番通報したもの。

事例 3 5

発生年月	平成 2 8 年 3 月
発生場所	秋田市泉
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	ぼや火災
概要	1 階居間にいた家人が階段の天井に設置した住宅用火災警報器の音に気づき、2 階寝室を見に行ったところストーブの上部から炎が立ち上がっているのを発見し、1 1 9 番通報するとともに、初期消火に成功したものの。

事例 3 4

発生年月	平成 2 8 年 1 月
発生場所	秋田市牛島
建物用途	木造 2 階建て共同住宅
被害状況	非火災
概要	ガステーブルにフライパンをかけたまま外出したため、フライパンの内容物が焦げ警報器が鳴動したものであり、警報音に気付いた上階の住人が 1 1 0 番通報した。その後、警察が消防へ通報し火災に至らなかったもの。

事例 3 3

発生年月	平成 2 7 年 1 0 月
発生場所	秋田市仁井田
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	半焼
概要	2 階寝室で寝ていた家人が、階段の住宅用火災警報器の警報音に気づき、1 階を見に行ったところボイラー室から煙が上がっているのを発見したため、火事ぶれをし避難することができた。

事例 3 2

発生年月	平成 2 7 年 3 月
発生場所	秋田市雄和
建物用途	木造 2 階建て住宅
被害状況	全焼
概要	深夜、2 階にいた家人が階段の住宅用火災警報器の音に気づき、1 階を見に行ったところ居間が激しく燃えているのを発見した。2 階で就寝中の家族 2 名に火事ぶれをし、3 名が避難することができた。

事例 3 1

発生年月	平成 2 7 年 1 月
発生場所	秋田市旭南
建物用途	共同住宅
被害状況	非火災
概要	ガステーブルに鍋をかけたまま外出したため、鍋を焦がし内容物が炭化したもの。隣室の居住者が警報音と異臭に気づき、管理人へ連絡し、管理人が 1 1 9 番通報した。

事例 30

発生年月	平成26年8月
発生場所	秋田市東通
建物用途	木造2階建て住宅
被害状況	ぼや火災
概要	家人が就寝中、住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、家の中を調べたところ浴室から煙が出ているのを発見した。 初期消火成功後、管轄消防署に通報したものの。

事例 29

発生年月	平成26年5月
発生場所	秋田市広面
建物用途	木造2階建て共同住宅
被害状況	非火災（たばこの火の不始末）
概要	隣家の住人が、住宅用火災警報器の警報音に気づき119番通報し、火災に至らなかったもの。

事例 28

発生年月	平成26年4月
発生場所	秋田市檜山
建物用途	木造平屋住宅
被害状況	非火災（鍋のかけ忘れ）
概要	隣家の住人が、住宅用火災警報器の警報音に気づき119番通報し、火災に至らなかったもの。

事例 27

発生年月日	平成26年1月
発生場所	秋田市八橋
建物用途	長屋住宅
被害状況	非火災
概要	風呂の追い炊きをしたまま寝てしまったが、隣人が住宅用火災警報器の音に気づき119番通報をしたため、火災に至らなかったものである。

事例 26

発生年月日	平成25年12月
発生場所	秋田市檜山
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	1階和室の住宅用火災警報器の音により台所にいた家人が反射式石油ストーブの異常燃焼に気づき、消火ボタンを押したが継続して黒煙が上がっていたため、119番通報した。到着した消防隊がストーブの芯を下げて消火したため、火災に至らなかったものである。

事例 25

発生年月日	平成25年9月
発生場所	秋田市川元
建物用途	共同住宅
被害状況	非火災
概要	火元者がガステーブルに鍋を掛けたまま外出し、住宅用火災警報器が鳴動。隣室の入居者が、その鳴動音に気づき119番通報をし、火災に至らなかったもの

事例 24

発生年月日	平成25年9月
発生場所	秋田市櫛山
建物用途	共同住宅
被害状況	非火災
概要	1階の住人が、住宅用火災警報器の音により鍋のかけ忘れに気づき、水道水で消火し、火災に至らなかったものである。119番通報および火事ぶれは、住宅用火災警報器の音に気付いた隣人が行った。

事例 23

発生年月日	平成25年5月
発生場所	秋田市大住
建物用途	一般住宅
被害状況	ぼや火災
概要	ストーブが点火状態になっていることに気づかず、座布団をストーブの天板に置いたため出火し、住宅用火災警報器が発報した。近所の人自宅前で、住宅用火災警報器の音と焦げ臭さに気づくとともに、2階の窓から白煙が出ている家を発見し、周りに火事ぶれをして、自宅から119番通報した。火事ぶれを聞いた人が勝手口から建物に入り排煙を行い、ストーブの上で燃えていた座布団を外に出して水道水で消火した。

事例 22

発生年月日	平成25年1月
発生場所	秋田市河辺
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	魚焼きグリルで魚を焼き放置したため、焦げた魚の煙で住宅用火災警報器が鳴動した。家人が警報に気づき魚焼きグリルの火を止めた。

事例 21

発生年月日	平成24年12月
発生場所	秋田市川元
建物用途	共同住宅
被害状況	部分焼火災
概要	ストーブへ給油中、灯油がストーブにかかり出火したもの。隣室の居住者が、住宅用火災警報器の鳴動音と焦げた臭いに気づき119番通報した。

事例 20

発生年月日	平成24年11月
発生場所	秋田市手形
建物用途	共同住宅
被害状況	非火災
概要	鍋を掛けたまま家人が外出したため、住宅用火災警報器が発報、付近の住民が警報音と、焦げ臭い臭いに気づき管理会社へ連絡した。駆けつけた管理会社の職員が119番通報した。

事例 19

発生年月日	平成24年7月
発生場所	秋田市川尻
建物用途	共同住宅
被害状況	非火災
概要	フライパンで魚を焼いたまま家人が外出したため、住宅用火災警報器が発報、上階の居住者が警報音に気づき119番通報した。間もなく帰宅した家人がガステーブルの火を止めた。

事例 18

発生年月日	平成24年6月
発生場所	秋田市山王
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	居間のテーブルに置いていたカセットコンロで味噌汁を温めているのを忘れ放置したため、鍋が空焚き状態となり部屋に煙が充満し家人が119番通報した。家人は事態に動転し、住宅用火災警報器の警報音に気付いていなかったが、指令課員が119番受信中および消防隊が現場到着時、警報音を確認しており、家人以外の発見通報による早期対応も予想されたものである。

事例 17

発生年月日	平成24年3月
発生場所	秋田市手形
建物用途	共同住宅
被害状況	部分焼火災
概要	長男が2階北側の寝室で昼寝をしていたところ、住宅用火災警報器の警報音に気づき目が覚めた。起きると周囲に灰色の煙と焼けている臭いがしたためすぐに避難した。また、出火建物南側の住人が帰宅したところ、火災に気づき119番通報した。1階居間には熱感知器が設置されており、2階の各寝室および階段には煙感知器が設置されているが発報した感知器は不明。

事例 16

発生年月日	平成23年12月
発生場所	秋田市飯島
建物用途	併用住宅
被害状況	ぼや火災
概要	使用済食用油と廃油凝固剤が入った天ぷら鍋をガステーブルに掛けて火を着け台所を離れた。しばらくして、台所の方から住宅用火災警報器の鳴動音が聞こえたため戻ってみると、台所が煙で充満していた。ガステーブルの火を消したところ煙が収まったため、消防署に一般加入電話で通報した。

事例 15

発生年月日	平成23年10月
発生場所	秋田市榎山
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	子供が1階台所の電子レンジでガラス容器に入れたピザ用チーズを調理していたところ、加熱し過ぎにより発煙し、住宅用火災警報器が鳴動した。子供たちは近くの交番へ助けを求めにいったが不在であった。たまたま通りがかった通行人へ、住宅用火災警報器警報音と自宅から煙が出ていることを伝え、通行人が119通報したものの。

事例 14

発生年月日	平成23年8月
発生場所	秋田市外旭川
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	発生場所付近に居住する消防職員が、住宅用火災警報器の警報音が聞こえるため、近づいて行くと窓から煙が出ている家を発見した。玄関が開いていたので火事ぶれを行ったが、応答が無かったので自ら119番通報した。その後、火事ぶれをしながら玄関から入っていくと、台所のガステーブルに掛けていた鍋から煙が上がっているのを発見、火を消したところ煙は収まった。

事例 13

発生年月日	平成23年8月
発生場所	秋田市雄和
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	居間でテレビを見ていた家人が、台所に設置していた住宅用火災警報器の警報音に気づき、台所に行ったところガステーブルから煙が出ているのを発見した。ただちに119番通報し、その後、消火器を使用して初期消火を行い避難した。

事例 12

発生年月日	平成23年4月
発生場所	秋田市榎山
建物用途	共同住宅
被害状況	部分焼火災
概要	この共同住宅1階に住む大家が、住宅用火災警報器の警報音に気づき廊下に出てみると、5号室の玄関上部から煙が出ており、玄関下部から水が流れ出ていたため、合鍵で5号室に入ったところ火災を発見し、台所の水道水を桶に汲み消火した。また、新聞配達員が配達中に同事案に気づき119番通報したものの。大家が火災を発見した時、火元者は在宅中であり、高齢で気が動転して台所の前に立ちすくんでいたが、大家が初期消火に成功した後、廊下へ避難していた。

事例 11

発生年月日	平成22年10月
発生場所	秋田市河辺
建物用途	一般住宅
被害状況	部分焼火災
概要	1階寝室で就寝していた家人が、設置していた住宅用火災警報器の警報音に気づき、居間へ行ったところストーブのコンセント付近から煙がでているのを発見した。ただちに火事ぶれを行い、家族がバケツで初期消火をしたが消火できなかったため、自宅の電話で119番通報したものの。

事例10

発生年月日	平成22年6月
発生場所	秋田市保戸野
建物用途	共同住宅
被害状況	ぼや火災
概要	ガステーブルの魚焼きグリルに火を付け居間で眠ってしまったため、魚焼きグリルから出火、住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器が発報した。隣人がその音声警報に気づき、火事ぶれを行い、火事ぶれを聞いた大家が119番通報するとともに魚焼きグリルから火がでているのを発見、水道水を掛けて消火した。

事例9

発生年月日	平成22年6月
発生場所	秋田市土崎港
建物用途	一般住宅
被害状況	ぼや火災
概要	たばこの吸い殻を寝室のゴミ箱に捨てたため、ゴミ箱から発煙し煙感知器が発報、近くで球技の練習をしていた生徒がその警報音に気づき、監督が119番通報するとともに火事ぶれを行った。家人が火事ぶれを聞き、寝室のゴミ箱から火がでているのを発見、浴室の水を掛けて消火した。

事例8

発生年月日	平成21年7月
発生場所	秋田市下北手
建物用途	住宅兼店舗
被害状況	ぼや火災
概要	屋外で植木鉢に水を掛けていた時に住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、台所へ行ったところ、ガステーブル上のフライパンから炎が出ているのを発見した。

事例7

発生年月日	平成21年5月
発生場所	秋田市将軍野
建物用途	共同住宅
被害状況	ぼや火災
概要	就寝中に、居室内に設置している住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、台所に置いてあった座布団が燃えているのを発見した。新聞配達員が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、持っていた携帯電話で119番通報した。

事例6

発生年月日	平成20年11月
発生場所	秋田市新藤田
建物用途	長屋
被害状況	ぼや火災
概要	枕もとに置いていた電気コンロに鍋をかけたまま就寝したため、布団が電気コンロのヒータに接触し出火したものと推定。現場付近を通りかかった者が、出火建物の窓が赤くなり室内で何かが燃えているのを発見し、室内を見たところ煙が充満し住宅用火災警報器が鳴動していたもの

事例5

発生年月日	平成20年11月
発生場所	秋田市高陽
建物用途	共同住宅
被害状況	非火災
概要	ガステーブルに鍋をかけたまま外出したため、鍋の中の食品を焦がしたため居室の煙感知器が発報した。上階の居住者が焦げくさい臭いと、警報音を聞き119番通報したもの。消防隊到着時、入居者は外出中であった。

事例4

発生年月日	平成20年11月
発生場所	秋田市手形
建物用途	共同住宅
被害状況	非火災
概要	鍋で食品を温めたまま居眠りをしてしまい、鍋の中の食品を焦がしたため居室と寝室の煙感知器が発報した。上階の居住者が焦げくさい臭いと「ピーピー」という警報音を聞き119番通報したもの。

事例3

発生年月日	平成20年11月ころ
発生場所	秋田市新屋
建物用途	一般住宅
被害状況	非火災
概要	たばこの吸い殻をゴミ箱に捨てたため、ゴミ箱から発煙し煙感知器が作動したもの

事例2

発生年月日	平成20年7月
発生場所	秋田市外旭川
建物用途	共同住宅
被害状況	非火災
概要	鍋で魚を煮ていたところ、居眠りをしてしまい鍋の中の魚を焦がしたもので台所の熱感知器が発報した。隣室居住者が焦げくさい臭いと「ピーピー火事です火事です」という警報音を聞き119番通報したもの。

事例1

発生年月日	平成19年6月
発生場所	秋田市寺内
建物用途	共同住宅
被害状況	ぼよ火災（天井面0.9㎡・トイレ用換気扇焼損）
概要	トイレの換気扇モーターの過熱により出火し、台所の熱感知器が発報した。隣棟居住者が警報音を聞き、音のする方を見たところ、出火室の窓から煙が漂っているのを発見したもの。